

## 「情報の世界」（数理・データサイエンス・AI 教育プログラム）の自己点検について

2022 年度における「情報の世界」の履修人数は 329 名（履修対象学生は 466 名）で、約 71%の学生が履修登録しました。高い履修登録率は、履修登録時に本科目の内容と目的を周知したことで、数理・データサイエンス・AI の重要性が伝わった結果と考えております。

次年度も、引き続き本科目の内容と目的を周知し、履修登録する学生を増やしていくことを計画しています。

授業における学修の到達目標の達成度を試験により評価し、成績（G P）に反映しました。成績は、秀 207 名、優 61 名、良 32 名、可 18 名、不合格 11 名となり、97%の学生が単位を修得しました。秀と優の割合が高い（約 81%）ことから、数理・データサイエンス・AI の基礎を身につけた学生が多かったと考えます。また、この科目を通して、データサイエンスに興味を持たせることができたのではないかと推察します。

### 【授業における学修の到達目標】

- 社会におけるデータ数理・AI の利活用に関連し、社会の動向、実際のデータ、活用領域、技術、を知る。
- データ・AI 利活用における留意事項（情報倫理など）について知る。
- データを読み、扱い、説明するというデータリテラシーを身に付ける。

授業評価アンケートを行って、学生からの意見を収集し、教員からも聞き取りを行いました。例えば、Microsoft Excel を使った演習がありましたが、学生によっては難しかったことがわかりました。初年度前期科目なので、事前知識が無いことに十分配慮した説明と指示を教材に含めるよう、改善する予定です。

## 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度の報告書の解説⑦

### 教育体制

- 大学等が機関全体として、**教育プログラムの管理運営や質向上に関与できる体制を整えていること。**（管理運営の責任者として専任教員を配置するなど）
- 学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講可能となるよう、各科目の実施にあたり、必要な体制（担当者の配置等）が取られていること。
- 授業時間内外での学習指導、質問を受け付ける仕組みができていること。

### 質保証

- 教育プログラムに関する以下のような項目を踏まえた**自己点検・評価体制を整備・実施**していること。
- 自己点検・評価の結果を、**不断の改善・進化に向けた取り組みを整備し、その進捗等を点検する体制が**できていること。
- 自己点検・評価の結果や**不断の改善・進化に向けた取り組みについて、ウェブサイト等で公開・発信し、報告する体制を整備・実施**していること。

（数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度公募事前説明会資料より）